



西宮ユネスコ

2018.3 第148号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町3-1 西宮市役所東館 人権教育推進課内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208）
 発行人：古 胡 博 巳 編集人：青 木 弘 子



『育て合い』

会長 辰馬 章夫

六甲おろしに鍛えられながら寒づくりの新酒が香り高く誕生していますが、その陰で蔵内では壮絶な闘いが繰り広げられているのをご存知ですか。それは酒が大好きな「火落菌^{ひおちきん}」という雑菌との闘いです。この菌が酒中に増殖しますと酒を白濁させ、本来の味や香りを損なわせるという厄介ものです。

酒づくり作業の大半は洗浄と殺菌です。僅かな隙について侵入してくる火落菌を近付けない、増やさないよう徹底管理します。酒と接する容器・器具類は完全殺菌し、外気を遮断して貯蔵し、精密な定期検査を行い、菌が見つければ殺菌処理をします。

このように攻撃と防御により火落菌ゼロ状態を維持し、酒の安定と品質の完璧を期しています。

酒はつくるものではなく育てるもの、最高品質の酒が育つクリーンな環境設定のための闘いが日夜展開されているのです。

古人曰く、「一年の計は穀を植うるにあり、十年の計は樹を植うるにあり、百年の計は人を植うるにあり」と。田植えから始まる酒づくりは一年の計の積み重ね、そして百年の大計の実践は人つく

りにあります。

オリンピック選手、特に10代の選手の活躍を見るにつけ、型にはめず、それぞれの個性や持てる価値を引き出す人格形成教育の重要性を感じます。

大橋洋治日本ユネスコ協会連盟会長は、「100年後の子どもたちが平和な世界に暮らせるよう教育を通じて人々の心に平和の種をまくという地道な活動を続けて行こう」と述べられています。

教育は平和の基礎をなすもの、誰もが学び、読み書きができる基本的人権が守られた状態があってこそ平和への道が開けます。

先生と生徒、親と子、師匠と弟子、教育はワンウェイではなく、育て合いです。持っている能力を引き出し合うのです。寺子屋運動、ESD、防災・減災教育、未来遺産運動、等々教育プログラムは、ユネスコ活動の中でも大きな位置を占めています。

ユネスコ協会は、平和運動をする団体というよりも、お互いの心に平和の砦を築こうという高い志を持った人たちの集まりです。そんな志のハートフルなつながりを、もっともっと広げて行きましょう。

（辰馬本家酒造㈱取締役相談役）

第38回阪神間ユネスコ協会 連絡会合同事業 in 西宮

第38回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業は西宮ユネスコ協会の担当で2017年11月17日（金）、西宮市役所東館8F大ホールで開催されました。

今回の合同事業は講師にNHKの天気予報でおなじみの気象予報士南利幸氏を迎え、「知っているようで知らない天気予報」と題した講演会でした。

「昔の天気予報は、周りを観察したうえでのことわざによる判断といったものが主だったが、最近は気象衛星からのデータや最新の技術を駆使することで予報の精度は格段に上がっている。しかし、1週間先の予報となるとまだ確率は70%程度だ」「一般に平均気温が上がっているといわれる。その原因は温暖化による影響は確かにあるが、海水温度による影響もありその要因は様々だ。1980年に比べて1度ほど上がっている。当時の宮崎の気温が現在の神戸で、長崎の気温が現在の東京」などと話されました。

また、テレビでの天気予報によるマークの見方や風向の見方について、たとえば“東の風”といえは東から吹いてくることを言うが、潮の流れの場合は逆に流れていく方向を指す。六甲おろしは、台風が紀州沖を通過するときに強い、など確かに知っているようで知らないことが多かった気がしました。



参加者からの質問から「今後はゲリラ豪雨などピンポイントの予報が必要になってくる。従来は20km四方を予報の対象としてきたが、最近では5km四方を対象にしている。将来は1km四方での予測も可能だろう」ということでした。

講演会の参加者は約150名でしたが、大変好評で、講演会後開催された懇親お茶の会でも天気についての話題やユネスコ協会間の意見交換などで大変盛り上がりしていました。

●●● 研修見学会 ●●● 「京都の文化探訪」 ～街中の博物館めぐり～



12月5日（火）10時、阪急烏丸駅に参加者14名が集合、街中の博物館をめぐりました。

烏丸駅を出発、紫織庵（京のじゅばんと町屋の博物館）、六角堂と生け花資料館（写真）、昼食、京都文化博物館、京都伝統工芸館、解散。

参加者の感想

個人ではあまり行くことのない街中の博物館めぐりを説明を聞きながら、楽しく過ごさせていただきました。紫織庵の中庭の紅葉がハラハラと散って、京都らしい町屋でした。もう少しゆっくりと展示を見たかった気もしました。旧日銀の建物（京都文化博物館）も素晴らしく興味深かったです。学芸員による説明を聞き歴史の流れが少しわかりました。

紫織庵では和洋折衷の家の中を見せて頂き、素敵な着物の展示品で目の保養をしました。祇園祭では家の前の通りを山鉦巡行が通るそうです。池坊生け花資料館ではいろいろな花器や家元たちの生け方絵図など興味深いものがありました。

それぞれの所で詳しい説明をしていただき、何も知らなかった自分を恥ずかしく思うと同時に深く感銘を受けました。

池坊と六角堂の繋がりや華道の起こりなど、知識が増える喜びは嬉しいものです。充実した大変楽しい一日を過ごすことが出来ました。

京都はたまに歩いていましたが、学芸員の方がたの説明を聞き、あっという間の一日を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

（岸田たけ子、北岡智穂、堀本良子、安本一江）

新年理事会・懇親会開催

2018年の新年理事会・懇親会は1月20日（土）、ホテルヒューイット甲子園（旧ノボテル甲子園）で開催されました。

理事会は冒頭辰馬会長が挨拶で「本年は日本ユネスコ協会連盟が制定した未来遺産運動10周年にあたる民間の中から有形無形の文化財を未来遺産として選び残していくことは将来を見据えた大切な事業だ。教育はユネスコ運動の中でも大きな意味を持つもの、西宮ユ協も草の根運動でできるだけの支援をしていきたい。現代はAI（人工知能）に代表される高度な最先端技術が多くのところに取り入れられているが、これに関西特有の“情の文化”が融合されることが望ましい」などと話されました。

理事会はその後、中間の活動報告・会計報告と2018年度活動計画案などが審議され了承されました。

午後からは一般会員を交えて新年懇親パーティーが開催されました。樋口さち江常任理事の司会で辰馬会長の挨拶、澤瀉久明氏の乾杯の音頭の後、会食、ビンゴゲーム、懐かしい歌の合唱など和やかな一時を過ごしました。



世界遺産シリーズ

明治日本の産業革命遺産

「^{にら}葦山反射炉」

大川 利子

東海道新幹線三島駅で伊豆箱根鉄道駿豆線に乗り換え、伊豆長岡で下車、車で5分程の所に一方が河川に面し、三方を山に囲まれた中に、煉瓦積みの高い煙突からなる高さ15.7m葦山反射炉が建っていました。立地環境に恵まれ、煉瓦や燃料となる石炭

などの運搬に、又出来上った大砲を船で運ぶために河川が利用され、山に囲まれていたことで外部から反射炉の存在が知られにくかったのです。

反射炉とは、鉄を溶かすための溶解炉です。鉄の溶解に必要な千数百度の高温を実現するため、反射炉内の天井部分は浅いドーム形、石炭などを燃料とし発生した熱と炎を天井に反射し材料に集中させる、このような仕組みから反射炉と呼ばれたのです。



葦山反射炉は江戸時代末の葦山代官・江川太郎左衛門英龍が中心となって造られました。英龍は日本に迫る諸外国の艦隊に備えるため、反射炉で鉄製の大砲を鑄造し、江戸湾内海台場（品川台場）をはじめとする砲台に設置することを目指しました。安政元年（1854）に築造が決まった葦山反射炉は、途中英龍の死去や安政の大地震による破損などの困難を乗り越え、息子の代の安政4年（1857）11月に連双2基4炉が竣工、鉄製砲の鑄造が開始されました。反射炉の周りには、砲身の内部をくり抜くための錘台や付属品の細工小屋などもあり、それらの施設も含めて反射炉は大砲の製造工場でした。

明治日本の産業革命は、日本の重工業（製鉄・製鋼、造船、石炭）分野において1850年代から1910年迄の50年余りという短期間に急速に産業化を成し遂げました。産業遺産群は、日本国内8エリア（萩、鹿児島、葦山、釜石、佐賀、長崎、三池、八幡）23資産から構成されており「明治日本の産業革命遺産」として平成27年（2015）7月世界文化遺産として登録されました。萩の反射炉とともに現存する反射炉としては、歴史に残る貴重な遺産となっています。葦山反射炉は稼動を終えたのち150年以上にわたり、3回の補修、修理工事を重ねながら今日まで保存され、ほぼ完全な形で残る世界唯一の反射炉です。

山の一角にある茶畑から、晴天の日は遠く北西方向に世界遺産である美しい富士山が望めます。



事務局だより

☆文楽鑑賞

1月22日(月)、恒例の初春公演を鑑賞しました。今回は、八代目竹本綱太夫五十回忌追善・豊竹咲甫太夫改め竹本織太夫襲名披露の口上があり、新春の華やかな演目(花競四季寿)に加え、追善・襲名披露狂言(摂州合邦辻)などを楽しみました。新織太夫さんの全身を使った全力の語り、そして命を吹き込まれた人形の繊細な動きに引き込まれました。

☆西宮国際交流デー

第22回西宮国際交流デーは2月25日(日)、フレンテ西宮4F・5Fで開催されました。“楽しもう多文化交流”をテーマに、にしのみや留学生スピーチ大会、民族音楽パフォーマンス、「カルタで知る世界のこと」～地球っこ(小学生)と外国人が作ったかるたを使って～等、多くの来場者で楽しみました。西宮ユネスコ協会は今年もミニバザーで参加しました。



☆国際理解講座

2017年度国際理解講座は3月12日(月)、西宮市国際交流協会会議室で開催されました。「平和とは?」～アンネの願いに触れながら～と題して、アンネのバラの教会坂本誠治牧師にお話をうかがいました。ナチスの迫害により15歳の短い生涯を閉じたアンネ・フランク、自由、平等、平和へのアンネの願いをアンネの父オットー・フランク氏との交流を通じて理解されたことをお話いただきました。また、3月8日(木)～12日(月)の間、西宮市国際交流協会展示コーナーにおいて、「アンネ・フランク資料館」が所有するアンネに関する貴重な資料展も開催されました。

☆ユネスコ世界児童画展

第33回ユネスコ世界児童画展は3月20日(火)～25日(日)、西宮市民ギャラリーで開催されました。西宮市内の小学校19校、幼稚園2園、海外からはスポーケン(アメリカ)、ロンドリーナ(ブラジル)、ロット・エ・ガロンヌ県(フランス)など姉妹・友好都市などから寄せられた500点を超す児童画がギャラリーを飾り、来館者に感動を与えていました。

協会日誌

(2017年10月～
2018年3月)

- '17.10.14 近畿ブロックユネスコ活動研究会
(和歌山・粉河ふるさとセンター)
- 11.17 第38回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
講演 「知っているようで知らない天気予報」
講師 南 利幸氏(気象予報士)
(西宮市役所東館8F大ホール)
- 12.1 阪神間ユネスコ協会連絡会②
(神戸・海外移住と文化の交流センター)
- 12.5 研修見学会「京都の文化探訪」
一街中の博物館めぐりー
- '18.1.11 英語教室第Ⅲ期開講 (プレラ4F)
- 1.20 新年理事会・懇親会
(ホテルヒューイット甲子園・愛宕の間)
- 1.22 文楽鑑賞会 (国立文楽劇場)
- 2.25 第22回西宮国際交流デー
(フレンテ西宮4F・5F)
- 3.12 国際理解講座
(西宮市国際交流協会・市教委・西宮ユ協共催)
講演 「平和とは?」
ーアンネの願いに触れながらー
講師 坂本誠治牧師(アンネのバラの教会)
- 3.16 阪神間ユネスコ協会連絡会③
(三田・郷の音ホール)
- 3.20 第33回ユネスコ世界児童画展
～25 (西宮市民ギャラリー)
- 3.31 会報148号発行

— 今後の催しの予定 —

- '18.4 英語教室第Ⅰ期開講
- 5.26 2018年度通常総会
- 7.7 第74回日本ユネスコ運動全国大会 in 函館
- ～8 「広げよう平和・共生の心」
～北の大地から次世代へ～
- 7. 阪神間ユネスコ協会連絡会①
- 8. “みんなく探検”(市教委・西宮ユ協共催)
- 9. 英語教室第Ⅱ期開講
- 9.末 会報149号発行
- 10. 第39回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
(芦屋ユネスコ協会)
- 11.4 第46回ユネスコチャリティーバザー

***** お知らせ *****

- ・西宮市教育委員会が3月17日(土)、西宮市役所東館に移転しました。これに伴い西宮ユネスコ協会事務局も同じ場所に移転しました。なお、電話番号、ファックス番号は変更ありません。
新住所 〒662-8567 西宮市六湛寺町3番1号
西宮市役所東館 人権教育推進課内
- ・2018年度西宮ユネスコ協会総会5月26日(土)、西宮市職員会館3F大ホールで開催されます。多くのご出席をお待ちしています。